

報道機関各位

青森県農林水産部構造政策課長
(公 印 省 略)

「農業の経営承継セミナー」の開催について

県では、農業の経営承継の気運醸成と地域の推進体制の構築を促すため、下記のとおり農業者向け及び指導者向けのセミナーを開催しますので、取材して下さるようお願いいたします。

記

1 農業者向けセミナー

農業者が自らの経営承継について検討するきっかけとなるとともに、今後の具体的な取組につなげることを目的に、県内6地域で実施します。

(1) 開催日時及び場所

地域	日時	会場
三八	令和6年1月15日(月) 14時から16時	八戸市総合福祉会館「はちふくプラザねじょう」 研修室(八戸市根城八丁目8-155)
東青	令和6年1月16日(火) 14時から16時	青森県総合社会教育センター第5研修室 (青森市大字荒川字藤戸119-7)
西北	令和6年1月18日(木) 14時から16時	五所川原市中央公民館 第1会議室 (五所川原市字一ツ谷504-1)
中南	令和6年1月19日(金) 14時から16時	弘前市民会館 第1+第2小会議室 (弘前市大字下白銀町1-6)
下北	令和6年2月5日(月) 14時から16時	下北文化会館 マルチルーム2・3 (むつ市金谷一丁目10-1)
上北	令和6年2月6日(火) 14時から16時	十和田市生涯学習センター第4研修室 (十和田市西三番町2-1)

(2) 開催内容

- ア 農業における経営の承継についてのポイント 講義
- イ 承継経験者による事例紹介
- ウ 意見交換

(3) 参集範囲

農業者、行政(市町村、農業委員会、県)、農協、農業者等から経営承継についての相談に対応される方等

2 指導者向けセミナー

承継を個々の経営体だけの問題ではなく、地域の担い手確保の観点から取り組むため、行政、農業団体、地域の中核となる農業法人等が果たすべき役割等について、理解を深め、地域の承継推進体制の構築を促すことを目的に実施します。

(1) 開催日

令和6年1月26日（金）13時半～15時半

(2) 場 所

青森県総合社会教育センター 大研修室（オンライン配信も併せて実施）

(3) 内 容

ア 基調講演

イ 事例紹介

ウ パネルディスカッション

(4) 参集範囲

行政（市町村、農業委員会、県）、農協、農業法人、農業者等からの経営承継に係る相談に対応される方 等

※詳細は、別紙チラシ又は県庁ホームページ（「青森県 農業の経営承継セミナー」で検索）をご覧ください。

報道機関用提供資料	
担当課	農林水産部構造政策課
担当者	農地活用促進グループ GM 籙谷 陽悦
電話番号	直通 017-734-9462 内線 5053
報道監	農林水産部 次長 及川 正顕（内線：4967）

参加費

無料

農業の経営承継セミナー（農業者向けセミナー）

担い手の減少と高齢化が進行する中、早期に経営承継に取り組むことが承継後の経営発展につながるという調査結果が出てきています。一方、「何から取り組んだらいいのかわからない」「まわりに相談したらまだ早いといわれた」という声もあります。

このセミナーは、これから経営承継に向け、「どのように取り組むべきか」をテーマに実施します。

日時・場所

県内6地域（東青、中南、三八、西北、上北、下北）において、各1回開催します。

地域	日時	会場
三八	令和6年1月15日（月）14:00～16:00	八戸市総合福祉会館「はちふくプラザねじょう」研修室（八戸市根城八丁目8-155）
東青	令和6年1月16日（火）14:00～16:00	青森県総合社会教育センター第5研修室（青森市大字荒川字藤戸119-7）
西北	令和6年1月18日（木）14:00～16:00	五所川原市中央公民館 第1会議室（五所川原市字一ツ谷504-1）
中南	令和6年1月19日（金）14:00～16:00	弘前市民会館 第1 + 第2小会議室（弘前市大字下白銀町1-6）

※上北、下北両地域の開催は2月上旬の予定です。別途ご案内します。

対象者

各会場ともに上限50人（お早めにお申し込みください）

- 農業者**（特にこれから経営を承継する予定だが、何から取り組むのかお困りの方）
- 行政機関やJA所属で、担い手の確保・育成に係る施策の立案・実行にあたる方**
（農業委員・農地利用最適化推進委員・事務局担当職員、JA担当者、市町村・県担当者）
- 農業者等から経営承継についての相談に対応される方 等**

登壇者

経験豊富な専門家による概要説明と経営承継の経験者による事例紹介。さらには両者との意見交換の場を設けています。

専門家

村上 一幸

1/15・16・18・19

大手上場企業から中小企業、農業事業者まで、規模・業種を問わず支援を展開。

近年は、経営の持続的発展に向けた事業継続計画（BCP）の策定支援のほか、事業承継やM&Aの支援・セミナーを多数実施。

青森県の「思いをつなげる農業の第三者承継推進事業」では、農業法人の従業員承継の支援等に携わる。



秋竹 新吾

1/18・19

和歌山県有田市
高校卒業後、有田
みかんの大産地でみ
かん栽培に従事。

みかん農業の裕福さから、一転、豊作貧乏まで味わう。
55歳で仲間と共に会社組織へ、社長として生産・加工・販売を一気通貫で行う「6次産業化」を牽引
2017年社長を息子に継承すると共に会長職となる。



経営承継の経験者

小岩 仁

1/15・16

岩手県一関市
農業大学校で畜産を学び、
削蹄師の資格を取得。2005年に家業（農業）に入り、畜産と稲作を担当。

2016年に親（当時60歳）より事業を継承（33歳）。2018年3月には株式会社KOIWAを設立。
農産物の生産（稲作、露地野菜、畜産（肉用牛））、削蹄を行っている



- 株式会社ケミストリー 代表取締役社長
- 農林漁業事業承継センター 代表
- 中小企業診断士、事業承継士、JGAP指導員など

- 株式会社早和果樹園 代表取締役会長
- 平成29（2017）年秋の叙勲において「旭日単光章」受賞
- 2020年著書「日本のおいしいみかんの秘密」発刊

- 株式会社KOIWA 代表取締役
- 農林水産省「より良い経営継承のための優良事例集」掲載

申込方法・参加の詳細は裏面をご覧ください

研修内容

地域の農業の継続の面からも経営承継は重要であることなど経営継承のポイントを専門家がわかりやすく伝えます。そして何から始めればいいのかがわかる「経営継承診断票」に取り組んでいただきます。身近な経営承継事例を紹介し、経験者と意見交換をすることで、これからすべきことがイメージできるようになります。

司会進行 日本政策金融公庫青森支店 竹本事業統轄
J-PAO上席コンサルタント 高田裕司

14:00	開会		
14:00-14:45	農業における経営の承継についてのポイント 講義	村上一幸氏	
	休憩5分		
14:50-15:20	承継経験者による事例紹介		
	1月15日(八戸市)、1月16日(青森市) 「親から子への承継と経営発展」 (親子間承継、稲作・野菜・肉用牛経営)	承継経験者(後継者) 小岩 仁氏	
	1月18日(五所川原市)、1月19日(弘前市) 「地域を牽引する農業法人の承継」 (親子間承継、果樹(みかん)経営)	承継経験者(先代経営者) 秋竹 新吾氏	
	休憩5分		
15:25-15:55	意見交換 ※参加者からの質疑応答中心	当日の登壇者	
15:55	アンケート他		
16:00	閉会		

申込方法

申込期限：令和6年1月5日(金)

必要事項をご記入の上、下記セミナー事務局までFAX等でお申し込みください。
なお、電子メールの場合は、この申込用紙の必要事項が分かるようにメール本文にご記入ください。

申込先：青森県農林水産部構造政策課農地活用促進G 宛て

FAX 017-734-8136

E-mail nouchikatsuyou@pref.aomori.lg.jp

お申込用紙				
所属				
氏名				
連絡先 (電話番号等)	電話			
	E-mail			
参加会場 (希望会場に○)	三八 (八戸会場) 1/15	東青 (青森会場) 1/16	西北 (五所川原会場) 1/18	中南 (弘前会場) 1/19

■主催：青森県 ■後援：日本政策金融公庫 青森支店

■お問い合わせ先

運営主体：NPO法人日本プロ農業総合支援機構(J-PAO) (TEL：03-6684-1015/担当：高田) にあい
事務局：青森県農林水産部構造政策課農地活用促進グループ (TEL：017-734-9462/担当：新相)

参加費
無料

農業の経営承継セミナー（農業者向けセミナー）

【下北・上北地域】

担い手の減少と高齢化が進行する中、早期に経営承継に取り組むことが承継後の経営発展につながるという調査結果が出てきています。一方、「何から取り組んだらいいのかわからない」「まわりに相談したらまだ早いといわれた」という声もあります。

このセミナーは、これから経営承継に向け、「どのように取り組むべきか」をテーマに実施します。

日時・場所

下北、上北地域において、各1回開催します。

（他地域（東青（1/16）、中南（1/19）、三八（1/15）、西北（1/18））は別途ご案内済）

地域	日時	会場
下北	令和6年2月5日（月）14:00～16:00	下北文化会館 マルチルーム2・3 （むつ市金谷一丁目10-1）
上北	令和6年2月6日（火）14:00～16:00	十和田市生涯学習センター第4研修室 （十和田市西三番町2-1）

対象者

各会場ともに上限50人（お早めにお申し込みください）

- 農業者（特にこれから経営を承継する予定だが、何から取り組むのかお困りの方）
- 行政機関やJA所属で、担い手の確保・育成に係る施策の立案・実行にあたる方
（農業委員・農地利用最適化推進委員・事務局担当職員、JA担当者、市町村・県担当者）
- 農業者等から経営承継についての相談に対応される方 等

登壇者

経験豊富な専門家による概要説明と経営承継の経験者による事例紹介。さらには両者との意見交換の場を設けています。

専門家

山本 孝宏

北海道函館市

15年以上農業に強い税理士事務所で勤務後、農業経営コンサルタントとして独立。様々な資格を保有すると共に、特に事業承継には力を入れて支援しており、農業に限定せず様々な業種を支援している。

- 株式会社DOSANKO Agri Consulting 代表取締役
- 事業承継協会北海道支部 理事
- ウイングスインターナショナル協同組合 北海道エリア長
- 日本政策金融公庫 農業経営アドバイザー試験合格者、事業承継士、AFP、2級ファイナンシャル・プランニング技能士など



経営承継の経験者

阿部 隆一

岩手県岩泉町

酪農を夫婦で経営。計画的な経営承継の重要性に早くから気付き、10年かけて実行に移す。家族に承継の意思がないことを確かめ、第三者承継を目指し、62歳で事業を20代の若者に承継。承継後には、夫婦で2023年8月より100日間の世界一周旅行に参加。

- 前アベデイリーファーム代表
- 農林水産省「より良い経営継承のための優良事例集」掲載



研修内容

地域の農業の継続の面からも経営承継は重要であることなど経営承継のポイントを専門家がわかりやすく伝えます。そして何から始めればいいのかがわかる「経営継承診断票」に取り組んでいただきます。身近な経営承継事例を紹介し、経験者と意見交換をすることで、これからすべきことがイメージできるようになります。

司会進行 日本政策金融公庫青森支店 竹本事業統轄

14:00	開会		
14:00-14:45	農業における経営の承継についてのポイント講義	山本 孝宏氏	
	休憩5分		
14:50-15:20	承継経験者による事例紹介 「将来設計を考えた経営承継」 (第三者承継、酪農経営)	承継経験者(先代経営者) 阿部 隆一氏	
	休憩5分		
15:25-15:55	意見交換 ※参加者からの質疑応答中心	山本 孝宏氏 阿部 隆一氏	
15:55	アンケート他		
16:00	閉会		

申込方法

申込期限：令和6年1月26日（金）

必要事項をご記入の上、下記セミナー事務局までFAX等でお申し込みください。
なお、電子メールの場合は、この申込用紙の必要事項が分かるようにメール本文にご記入ください。

申込先：青森県農林水産部構造政策課農地活用促進G 宛て
FAX 017-734-8136
E-mail nouchikatsuyou@pref.aomori.lg.jp

お申込用紙		
所属		
氏名		
連絡先 (電話番号等)	電話	
	E-mail	
参加会場 (希望会場に○)	下北 (むつ会場) 2/5	上北 (十和田会場) 2/6

■主催：青森県 ■後援：日本政策金融公庫 青森支店

■お問い合わせ先

運営主体：NPO法人日本プロ農業総合支援機構(J-PAO) (TEL：03-6684-1015/担当：高田) にあい
事務局：青森県農林水産部構造政策課農地活用促進グループ (TEL：017-734-9462/担当：新相)

参加費
無料

農業の経営承継セミナー（指導者向けセミナー）

経営承継を進めていくには個々の経営体だけでは限界があり、地域が一体となって、農地資源や技術の継承に取り組む必要があります。

このセミナーでは、様々な地域での取組や、承継事例を紹介し、どのようにしていったらいいのか、そのヒントを提示していきます。

日時・場所

令和6年1月26日（金）13:30～15:30（開場13:00）

青森県総合社会教育センター 大研修室（青森市大字荒川字藤戸119-7）

（YouTube Liveによるオンライン配信あり）

※ 冬季のため駐車場の使用台数が限られています。可能な方はお車相乗り又は公共交通機関にてお越しいただきますようお願いします。

対象者

- 経営承継を地域で推進したい農業者・農業委員・農地利用最適化推進委員の方
- 行政機関やJA所属で、担い手の確保・育成に係る施策の立案・実行にあたる方
- 農業者等からの経営承継に係る相談に対応される方

（市町村担当者、農業委員・農地利用最適化推進委員・事務局担当職員、JA担当者、金融機関担当者、税理士、中小企業診断士、一般農業者、農業法人担当者、県担当者など）

登壇者

基調講演「経営承継の地域での取組の意義と事例紹介」



木之内 均 氏（有限会社木之内農園 代表取締役会長（熊本県））

東京都生まれ、非農家出身。

大学卒業後、熊本県内で新規就農。有限会社木之内農園を創業し、6次産業化などの多角的経営を実践するほか、日本初の農業者が中心となった農業人材育成団体「NPO法人九州エコファーマーズセンター」を設立し、新規就農者の育成に尽力している。

同センターでは理事長を務め、第三者承継の支援に取り組むとともに、自らが創業した農業法人を、親族外の第三者に事業承継している。

現在、東海大学九州キャンパス長、NPO法人熊本県就農支援協議会理事長などの役職を務め、日本農業のリーダーのひとりとして活躍している。

事例紹介「知人から果樹の第三者承継を受けました」

三井 公司 氏（ドリームファーム株式会社代表取締役社長）（山梨県）



山梨県甲州市生まれ。県外の大学を卒業後、都内のシステム開発会社にシステムエンジニアとして就職。20代後半で地元山梨に帰郷。ウェブデザインや広告プロモーションを行う会社を経営する一方、農業システムの開発に参画することで農業に興味をもち、農家の知人から農地を借り2013年、実際にぶどう栽培を開始。3年後の2017年に農業法人として別法人を設立。現在、農業事業では承継した農地や、近隣農家から借りるなどで約1.5haの農地で桃と葡萄を栽培をしている。農業事業以外にも、山梨大学や山梨県・広島県などの自治体と共同でスマート農業事業を展開、他に甲府市内で飲食事業を運営している。

申込方法・カリキュラムの詳細は裏面をご覧ください

パネリスト 山内 明男 氏（J A青森浪岡地区新規就農受入協議会前会長（青森市浪岡））



青森市浪岡出身。父から受け継いだりんご園「山内園」で40年以上りんご栽培に取り組む。4年前、膝の不調をきっかけに承継を考え始め、子供達は継ぐ予定がなかったことから、第三者承継を検討していたところ、りんご収穫のアルバイト募集で後の後継者となる人物と出会う。同時期に、J A青森が、経営を譲りたいりんご農家の経営資源や栽培技術を新規就農者に伝承することを目的に「J A青森浪岡地区新規就農受入協議会」を設立。山内氏が初代会長に就任。協議会の制度を利用し、後継者候補に1年間の研修を行った後、令和4年4月に園地の一部を承継。今後、残りの園地も徐々に引き継いでいく予定である。

内 容

経営承継の支援者・実践者による基調講演、事例紹介のほか、県内での普及拡大に向けたパネルディスカッションを通じて、理解を深めます。

	内 容	登壇者
13:30	開会・主催者挨拶	
(30分)	基調講演 演題「経営承継の地域での取り組みの意義と事例紹介」	木之内 均 氏 有限会社 木之内農園 代表取締役会長 東海大学 九州キャンパス長
(25分)	承継事例紹介 演題「知人から果樹の第三者承継を受けました」	三井 公司 氏 ドリームファーム株式会社 代表取締役社長（後継者）
休憩		
(45分)	パネルディスカッション 演題「経営承継の推進に向けて、地域が取り組むべきこと」	コーディネーター 竹本 太郎 氏 (日本政策金融公庫青森支店農林水産事業統轄) パネリスト 木之内 均 氏、三井 公司 氏、山内 明男 氏
15:30	閉会・アンケート記入	

申込方法

申込期限：令和6年1月18日（木）

必要事項をご記入の上、下記セミナー事務局までFAX等でお申し込みください。
なお、電子メールの場合は、この申込用紙の必要事項が分かるようにメール本文にご記入ください。

申込先：青森県農林水産部構造政策課農地活用促進G 宛て
FAX 017-734-8136 E-mail nouchikatsuyou@pref.aomori.lg.jp

お申込用紙

所 属	
氏 名	
参加方法	①会場参加 ②オンライン参加 (該当する方に○)
電話番号	
メールアドレス	※オンライン参加の方は必ず記入願います。後日、視聴用URLをお知らせします。

■主催：青森県 ■後援：日本政策金融公庫 青森支店

■お問い合わせ先

運営主体：NPO法人日本プロ農業総合支援機構(J-PAO) (TEL：03-6684-1015/担当：高田) にあい

事務局：青森県農林水産部構造政策課農地活用促進グループ (TEL：017-734-9462/担当：新相)